

ほんの少しむかしには、街角のいたるところにお地藏さんを見かけた。世の中が便利になっていく傍らで、いつもひっそりと道行く人々を見守ってくれていたその姿は今では少なくなった。

ふと立ち止まって、変わりゆく街並みを見つめてみると、今日はあるけど、明日はないかもしれないものに溢れている。今必要なものが全てではない。失われる前に伝えていかなければならないものもある。私たちの日常のなかにも、これは残しておこかなと思う瞬間がきっとあるはずだ。

だからこそ少しだけ意識を変えて、大切なものを探してみよう。次の時代にそれは秘宝になるかもしれない。

# Moshi-Mosu

もっと知れば、  
もっと好きになる！  
長岡京市の歴史・文化財

IV

VOL.22  
2023  
SPRING

## DIG THE GEMSTONES.

原石を掘り起こせ。



## 建造物 (14棟)

- 角宮神社 (本殿・春日神社本殿・末社八幡宮本殿)
- 走田神社 (本殿・本殿覆屋)
- 楊谷寺 (阿弥陀堂・経蔵・鐘楼・稲荷社・独結水堂・玄関・手洗屋形)
- 乘願寺 (本堂)
- 子守勝手神社 (本殿)



乗願寺 本堂

乗願寺 本堂  
西山浄土に属する寺院。本尊阿弥陀如来坐像(府指定文化財)は浄土谷の大仏と呼ばれる。本堂は、墨入・扉扉、桂瓦葺で、全体的に簡素であるが、大仏を納めるためもあって、軒の高さが目立つ建物である。棟札によると、摂津国島上郡坂本の大工棟梁により、寛政3年(1791)に上棟されたもの。

1871

古蹟旧物保存方

1896

古社寺保存法

1919

足跡名勝天然記念物保存法

1929

国宝保存法

1950

文化財保護法

1954

長岡京発掘開始

1975

長岡京市文化財保護条例

1981

京都府文化財保護条例

1982

市立埋蔵文化財調査センター設立

1985

市史編さん事業開始

2017

京都府暫定登録文化財

2022

長岡京市文化財保存活用地域計画



## 絵画 (80点)

- 絹本着色十一尊図 (光明寺)
- 絹本着色地藏菩薩像 (光明寺)
- 絹本着色仏涅槃図 (光明寺)
- 絹本着色阿弥陀聖衆来迎図 (光明寺)
- 絹本着色阿弥陀聖衆来迎図 (光明寺)
- 絹本着色十六羅漢像 (その一〜その十六) (光明寺)
- 絹本着色羅漢像 その一・その二 (光明寺)
- 絹本着色楊柳観音像 (光明寺)
- 光明寺障壁画 (旧宝永境内真常御殿障壁画)
- 附 紙本着色大和絵人物図屏風 (光明寺)

私蔵品にあり

まろくもんじぶ

### 楊谷寺文書

楊谷寺には、近世・近代の多くの古文書が所蔵され、最も古いものは元和9年(1623)の観音講規約である。同寺の文書の特徴は、楊谷寺の発展に貢献した虚空聖海が寺した元禄6年(1693)以来、系統的に文書・記録類が選別・整理されて引き継がれてきたことと、各地の關に関するものが多いことがあげられる。



約1500点の古文書

### 光明寺障壁画 (旧宝永境内真常御殿障壁画)

これは安永の曹島の殿舎神社の風景を描いた真常御殿。狩野宗の絵師による作品である。光明寺に伝わる障壁画は、御所から伝来したものと伝えられてきたが、新たな史料により、宝永6年(1709)遠宮の内裏御殿の障壁画であったことが裏付けられた。

## 古文書 (9件)

- 長岡天満宮文書
- 楊谷寺文書
- 楊谷寺棟札願
- 樋口家文書
- 乙訓寺文書
- 石田彌兵衛家文書
- 佐藤久左衛門家文書
- 能勢四郎右衛門家文書
- 石田市左衛門家文書

# Dig the Gemstones.

原石を掘りおこせ！未来へ残すために。

## What's this?

「京都府暫定登録文化財」を知っていますか？



長岡京市には、国史跡「乙訓古墳群」や「長岡京跡」などの遺跡、乙訓寺や光明寺、長岡天満宮をはじめとする社寺など、豊かな歴史文化が今に伝えられています。こうした貴重な文化財は、有形・無形に関わらず京都府内の各地域に所在しており、国や府、市町村の指定や登録を受けて保護されているものもあります。しかし、近年では頻発する災害により危機にさらされているものや、運営状況により社寺等から文化財の散逸が危惧されるものもあります。また、多くの文化財は所有者のご努力によって保護・維持されていて、建造物や絵画、仏像などのなかには保護制度からは外れたものも少なくありません。

そこで、京都府では、未指定文化財が指定を受ける前に失われたり、価値を損ねてしまうことがないよう、平成29年(2017)4月に全国初の「暫定登録制度」が創設されました。この制度は、これまで指定や登録に至らなかった文化財にも保護の裾野を広げ、破損や劣化、散逸の危険性がある価値の高い文化財を保護する府独自の制度です。早期保護を図るために調査や登録の手続きを簡素化し、登録された文化財は修復・保存・防災等にかかる費用の補助を受けることができます。現在の登録数は1400件を超えており、今後も文化財を良好な状態で次世代に継承するための助けになっています。

## 彫刻 (8点)

- 木造千手観音坐像 (寂照院)
- 木造金剛力士像 阿形 (寂照院)
- 木造金剛力士像 吽形 (寂照院)
- 木造釈迦如来立像 (光明寺)
- 木造神符形立像 阿形 (勝龍寺)
- 木造神符形立像 吽形 (勝龍寺)
- 木造十一面観音立像 (勝龍寺)
- 木造狛犬 (乙訓寺)

### 木造狛犬

本像は、落ち着いたポーズ、比較的小さな彫刻。たてがみや首筋の中間を得た表現が特徴。制作年代は種々な彫刻の狛犬の様式が完成された鎌倉時代、13世紀後半頃と考えられる。

## 考古資料 (12件)

- 鉄製品 惠蔭山古墳出土
- 重層ガラス玉 宇津久志1号墳出土
- 漆紗冠 長岡京跡出土
- 土偶 雲宮遺跡出土
- 銅刺 神足遺跡出土
- 土笛 谷山遺跡出土
- 陶棺 北平尾1号墳出土
- 漆器鉢・合子 長岡京出土
- 祭祀具 西山田遺跡出土
- 須恵器絵面線刺土器 井ノ内遺跡出土
- 旧石器 南栗ヶ塚遺跡出土

### 重層ガラス玉

本品はガラスの間に金箔が挟み込まれた重層ガラス玉。5世紀前半の方墳である宇津久志1号墳の木棺に埋葬された鉄刀や大量のガラス玉ともにも出土。成分の分析によりローマ帝國領域内で作られたものも利用しており、国内最古級の製品である。

## その他 (4件)

- 算額 寛政二年十二月令福方奉納 (長岡天満宮)
- 曳篋曼荼羅版木 (寂照院)
- 後柏原天皇宸翰三首和歌懐紙 (楊谷寺)
- 楊谷寺境内

まろくもんじぶ

本日は27日付

# Topic!

昨年12月、市制施行50周年の記念事業の目玉であった「記念写真集」を刊行しました。昔の写真を整理している和文化財に携わった先人たちの姿もあり、改めて後世へ繋げなければと感じています。また本市のこれからの文化財保護と活用の指針となる「文化財保存活用地域計画」が国の認定を受けるなど、本年度は文化財保存活用課にとって大きな節目の年となりました。

好評販売中!  
限定1000部

## 写真でふりかえる 長岡京市

市制施行50周年を記念し、これまでの歩みを航空写真や街並みの写真でたどる歴史資料集を作成しました!

50年前と現在を比較しながら、長岡京市の街並みや私たちの生活の変化を写真でわかりやすくたどることができる一冊です。このまちで生まれ育った方、また新しく越されてきた方も、市の歴史を知らなくても「懐かしい!!」と思える写真が多数掲載されています。ぜひ、お買い求めいただき、家族団らんのひと時に、散歩のお供にご活用ください。

価格: **2,000円** (税込み)  
規格: A4判・124頁・フルカラー



<ご購入はこちら>

○窓口で購入

市立図書館3階文化財保存活用課窓口、市役所1階会計課窓口  
観光案内所、中山修一記念館

○郵送で購入 (送料別)

お名前・住所・電話番号・書名・冊数をファクス・メール・郵便のいずれかで文化財保存活用課までお知らせください。



詳細はこちらへ

## NEWS

### 長岡京市文化財ニュース

令和4年度に実施された本市の指定・登録文化財、埋蔵文化財の動きをご紹介します。

#### 国指定重要文化財

##### ●乙訓寺 毘沙門天立像 修繕

像表面の剥落などの進行を抑えるために、剥落留めや補色などの補修を行いました。

new

##### ●乙訓寺 十一面観音立像 修繕

市指定文化財であった十一面観音立像は、修繕の結果、像内から年代を記す多数の文書が発見され、重要文化財に新たに指定されることになりました。

#### 市指定文化財

##### ●長岡天満宮 連歌所 屋根葺き替え工事

大正3年(1914)に建築された唐破風造の建物で、経年劣化により破損していたため、檜皮の葺き替えなどの修繕を実施しました。

#### 埋蔵文化財

##### ●長岡京跡出土の木製品・金属製品 保存処理

木簡(左京第613次)、銅製丸網(右京第1177次)、小型仿製鏡(右京第1180次)、銅製鈴(右京第1220次)

##### ●長岡京跡他(乙訓寺・恵解山古墳) 発掘調査

## 文化財の Trivia トリビア



Q. 狛犬(こまいぬ)って何?どんな犬なの?



狛犬



A.

神社に行くとき参道の両脇に石でつくられた犬が座っているのを見たことはありませんか。狛犬は本殿や拝殿などの前に置かれた神様を守護する存在です。左右に一对で置かれ、むかって右側は口を開けた「阿形(あぎょう)」、左側は口を閉じた「吽形(うんぎょう)」と言います。その起源は古代オリエントのライオンで、インドや中国を経て、飛鳥時代に日本へ伝わりました。当初は「獅子(しし)」の姿でしたが、平安時代には獅子と狛犬が一对となります。その後、表現が簡略化されていくなかで、両方を「狛犬」と呼ぶようになっていきました。

稲島院



犬の方編みの母です。  
動物愛護は許しません。

